

## 第5学年国語科学習指導案

児童 5年1組 男子18名 女子11名 計29名  
指導者 菅原 良和

- 1 単元名 人物の考え方や生き方をとらえよう  
教材名 「わらぐつの中の神様」

### 2 児童と単元について

#### (1) 児童について

本学級の児童は、1学期の物語文「新しい友達」の学習において、主題をとらえることを最終目標として学習をする経験をした。まず、物語の設定を正しく読み取るために、場面ごとに見出しを付け、物語全体の大体の内容をつかむ学習をした。次に、叙述に沿って心情を読み取るために、場面ごとの主人公の心情を「うれしい」「悲しい」「さびしい」などのような短い言葉で表現し、その根拠となる叙述を探したり、主人公の心情の変化を心情曲線に表し、心情が大きく変わる一文を探し、その前後の気持ちの変容をとらえたりしながら、主人公の心情の移り変わりを読みとる学習をした。さらに、物語の主題をとらえるために、物語を「だれが、何によって、どうなる話」という風に、一文でまとめから主題にせまるという学習も経験した。主題をとらえることについては、物語文を一文にまとめることができた児童は9割、自力で主題をまとめることができた児童は、7割であった。

本教材の事前テストでは、本文を読んだ後、題名を考えさせた。その結果、「わらぐつの中の神様」と答えた児童は1名、「わらぐつの神様」と答えた児童は7名、題名の中に「わらぐつ」という言葉を入れて考えた児童は13名、「おみつさん」という言葉を入れて考えた児童は、7名であった。また、なぜ「わらぐつの中の神様」という題名がついたのかを指摘できた児童は、4名であった。児童の初発の感想から、児童の読みを考察してみると、ほとんどの児童はおみつさんの昔話であることをとらえていたが、おみつさんや大工さん、マサエの心情の変化に着目して読むことのできた児童は、わずかしかなかった。

#### (2) 単元及び教材について

本単元「人物の考え方や生き方をとらえよう」は、物語「わらぐつの中の神様」の読みを通し、人物の考え方や生き方をとらえる単元とする。

この教材は、がんぎ、わらぐつ、雪げた等に見られるように雪国を舞台とし、また、方言が多用されていることから、地方色が濃く出ている物語といえる。その構成は、現在 過去 現在の額縁構成となっている。2場面の昔語りを聞く前のマサエと、聞いた後のマサエの変容は、「人物の考え方や生き方」をとらえる上での大切な叙述となる。そして、時間の行き来や場面の飛躍的な転換もおもしろさであり、展開の工夫であると考え。また、わらぐつや雪げた等の小道具の味わい、印象的な台詞等、読み手の注目の仕方に応じて様々なおもしろさを感じ取ることができるであろう。このように、行動描写や会話文から人物像をとらえさせるとともに、場面構成の工夫や小道具がもたらす効果など、様々な文学の読み方を指導できる教材であると考え。物語中の「おみつさん」は、正直者で、やさしく、何よりも純粋であることから児童は共感的にとらえるだろう。そんなおみつさんを通して、人物の考え方や、生き方をとらえていきたいと考えこの教材を選定した。さらに、1の場面では、わらぐつや神様に対して「みったぐない」「そんなの迷信でしょ」といっていたマサエが、おばあちゃんの昔話を聞くことで3の場面では「雪げたの中にも神様が」とまで、変容していく。このことは、2場面でのおみつさんや大工さんの「相手の身になって、心を込めて」といった、わらぐつを通してお互いの価値観を認め合う心の通い合いが、マサエの変容に大きくか

かわっているととらえる。しかも、その二人が実の祖父母であるという発見が、マサエの大きな感動として描かれており、これは、読み手である児童の感動でもあると考える。

(3) 付けたい力と読みの方法 【付けたい力】 読みの方法

【登場人物の心情や人物像を叙述と結び付けながら読み取る力】

登場人物の言動を根拠にしてとらえる。  
 心情の変化を対比しながらとらえる。  
 ・考え方 ・人柄

本単元では、2場面でおみつさんと大工さんの人物像を、1と3の場面でマサエの心情の変化をとらえながら読み進めていく。まず、1場面におけるマサエの心情を読み取る。ここで描かれているマサエは、甘えん坊で人任せ、おばあちゃんの話で「そんなの迷信でしょ。」と、まるで相手にしないマサエが読み取れる。次に、2場面において、人物像を読み取る際には、おみつさんと大工さんの考え方や人柄が分かる叙述に着目させながら読み進めていき、その人柄や考え方が、わらぐつを通して二人を結び付けていることを読み取らせたい。そして3場面では、2場面の昔語りを聞いたことによって、どのように変容しているのかを読み取っていく。おばあちゃんの話を書くことによって、マサエの心情はどう変容したのかということ、行動や会話に焦点を当て、さらに1場面と対比させながらしっかりととらえさせたい。

3 単元の目標及び評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	登場人物の人物像や心情を叙述に沿って読もうとする。 物語のあたたかさにひかれて、心に残る言葉や文章、情景や場面を楽しんで読もうとする。	・登場人物の人物像や心情を叙述に沿って読もうとしている。 ・物語のあたたかさにひかれて、心に残る言葉や文章、情景や場面を楽しんで読もうとしている。
読む能力	会話文や行動の描写部分の叙述を手がかりに、登場人物の考え方や人柄を読み取ることができる。 読むこと ウ	・会話文や行動の描写部分の叙述を手がかりに、登場人物の考え方や人柄を読んでいる。
言語についての 知識・理解・技能	理解するために必要な語句について、辞書を使って調べることができる。 言語事項 ウ(ウ) 方言と共通語の違いを理解し、そのよさを味わうことができる。 言語事項 カ(イ)	・理解するために必要な語句について、辞書を使って調べている。 ・方言と共通語の違いを理解し、そのよさを味わっている。

4 単元の指導計画及び評価規準(10時間)

段階	時	学習活動	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能

見 通 す	1	全文を通読して、大 体の内容をつかみ、初 発の感想を書く。 新出漢字・読み替え 漢字、語句の意味を確 認する。	文章に興味をも ち、進んで感想を書 こうとしている。 (観察・シート)	話の大体の内容をつか み、登場人物に自分の思い を重ねたり、共感したりし て、初発の感想を書いてい る。 (シート)	新出漢字や読み替えの漢 字を正しく理解している。物 語を理解するために必要な 語句について、辞書を利用し て調べている。 (観察、発言)
	2	単元名、リード文か ら単元全体の学習のめ あて、流れをつかむ。 学習計画を立てる。	今後の学習の仕 方に興味をもって いる。(観察・発言 )		
深 め る	3	設定をとらえる。 1場面でのマサエの 人柄を読み取る。	1場面でのマサ エの人柄を積極的 に読み取ろうとし ている。 (観察、発言)	登場人物をとらえ、その 中で1場面でのマサエの 人柄を読み取っている。 (観察・ノート・発言)	語感や文の使い方 について考えたり、語 感や文に関心を持っ たりして読んでいる。 (観察、発言)
ま と め る	4	2場面でのおみつさ んの人物像を読み取る 。		わらぐつの叙述とわら ぐつを作るおみつさんの 考えを対応させながら、お みつさんの人柄を読み取 っている。 (観察・ノート・発言)	
	6	なぜ大工さんは、お みつさんに結婚を申し 込んだのか、読み取る 。		大工さんのわらぐつに 対する見方や考え方、おみ つさんとの人柄の重なり を基に、なぜ結婚を申し込 んだのか読み取っている。 (ノート・発言)	
ま と め る	7	3場面での会話を手 がかりにして、マサエ の心の動きを考えるこ とで、人物の考え方や 生き方を読み取る。		神様がいることを信じ るようになったことと、昔 話の人物が祖父母である ことの発見の喜びから、玄 関に飛び出していったマ サエの心情を読み取って いる。 (観察・ノート・発言)	
	8	杉みき子の「春先の ひょう」を読み、大体 の内容をつかむ。	文章に興味をも ち、進んで読み進め ようとしている。(観 察・発言)	話の大体の内容をつか んでいる。物語の構成及び 登場人物をとらえている。 (発言・ノート)	

	9	学習した方法を使って「春先のひょう」を読み、人物の考え方・生き方について読み取る。		既習方法を生かして登場人物の考え方・生き方について読み取っている。 (観察・ノート・発言)	
広める	10	方言と共通語のそれぞれのよさと役割を理解する。			方言のよさ、役割などを理解している。 (観察・シート・発言)

## 5 本時の指導(5/10)

### (1) 本時の目標

わらぐつの叙述とわらぐつを作るおみつさんの考えを対応させながら、おみつさんの人柄を読み取ることができる。

### (2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

観 点	具体的評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への手だて
読む能力		<p>わらぐつの特徴が分かる部分を押さえ、その部分とわらぐつを作っているおみつさんの考えを対応させながら、それを根拠に、具体的に自分の考えも入れて説明しながらおみつさんの人柄をまとめている。</p> <p>例)「少くらい格好が悪くても、はく人がはきやすいように・・・」というおみつさんの考え方は、「上からつま先まで、・・・このうえなしです。」という出来上がったわらぐつに表れ、さらにそのわらぐつには人柄も表れている。わらぐつから、相手のことを思いやることのできる優しさをもち、外見ではなく、中身を大切に作る人柄が分かる。</p>	<p>わらぐつの特徴が分かる部分を押さえ、その部分とわらぐつを作っているおみつさんの考えを対応させながら、おみつさんの人柄をまとめている。</p> <p>例)「少くらい格好が悪くても、はく人がはきやすいように・・・わらを編んでいきました。」「上からつま先まで、・・・このうえなしです。」から、相手のことを思いやることのできる優しさをもち、外見ではなく、中身を大切に作る人柄が分かる。</p>	<p>わらぐつを作っている時におみつさんが考えた叙述を示し、そこからどんな人柄がうかがえるのか考えるよう声かけをする。</p>

(3) 展開

段階	学習活動 発問 ・期待する児童の反応	教師の関わり方 ・留意事項 評価（評価方法）
見通す  5分	<p>1 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>わらぐつを作っている場面から、おみつさんの人柄を考えよう。</p> </div> <p>2 読みの視点を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おみつさんの行動・会話</li> <li>・ 出来上がったわらぐつの様子</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時におみつさんの人柄をまとめたが、本時は、わらぐつを作る様子から読み取れるおみつさんの人柄に焦点化して考えていくことを確認する。</li> </ul>
深める  35分	<p>3 学習場面を音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P 1 2 L 8 ~ P 1 4 L 5 の音読</li> </ul> <p>4 課題に対して自分の考えを持ち、話し合う。</p> <p>(1)おみつさんの行動・会話から人柄を考える。 おみつさんの行動や会話からどんな人柄が分かりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P 1 2 L 8 ~ 9 から、我慢強い・真面目・がんばりや・前向き</li> <li>・ P 1 2 L 1 2 ~ 1 3 から、家族思い・働き者</li> <li>・ P 1 3 L 2 ~ 6 から、思いやりがある</li> <li>・ P 1 4 L 5 から、前向き・元気</li> </ul> <p>(2)出来上がったわらぐつの様子から人柄を考える。 おみつさんが作ったわらぐつはどんなわらぐつですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いかにも変な格好</li> <li>・ 上からつま先まで、すき間なく、きっちり編みこまれている</li> <li>・ じょうぶなことは、このうえなし</li> </ul> <p>作ったわらぐつにどんなおみつさんの人柄が表れていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ しっかり者</li> <li>・ まじめ</li> <li>・ 思いやりのある</li> </ul> <p>なぜ、上からつま先まで丈夫に作ったのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おみつさんは、はく人がはきやすいように考えたから。</li> </ul> <p>おみつさんの考えで、一番大事にしている部分はどこですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ はく人がはきやすいように・・・長持ち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視点に気を付け、内容を確認しながら、おみつさんがわらぐつを作る場面を各々の速さで微音読する。</li> <li>・ 本文の叙述を根拠に、おみつさんのどんな人柄が読み取れるのか、教科書にサイドライン・書き込みをさせる。</li> <li>・ わらぐつの様子が書かれている部分を見付けさせ、その中から、おみつさんの人柄が分かる部分を考えさせる。</li> <li>・ わらぐつの様子とおみつさんの行動（わらぐつを作っているときのおみつさんの考え）が対応していることに気づかせ、その対応から、おみつさんの人柄について考えていくようにさせる。</li> </ul>

	<p>するようにです。 おみつさんの行動の中の考えと、出来上がったわらぐつから、おみつさんのどんな人柄がわかりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のことを思いやる人柄が分かる。</li> <li>・外見よりも中身を大切にしている人柄が分かる。</li> </ul> <p>5 課題に対するまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わらぐつの様子の叙述にある、「その代わりに」とおみつさんの考えの叙述にある「ても」という言葉の対応に着目させることによって、おみつさんには、見た目よりも中身を大切にしている人柄もあることを気づかせたい。</li> <li>・話し合いの内容を生かして、まとめるよう指示をする。</li> <li>・おみつさんの考えとわらぐつの様子の対応からつかんだおみつさんの人柄を自分でまとめる。</li> </ul> <p>話し合いをもとに、わらぐつを作るおみつさんの人柄を自分でまとめている。 (ノート、発言)</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>6 まとめ音読をする。</p> <p>7 本時の学習について振り返る。</p> <p>8 次時の学習を確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時と本時の学習内容のかかわりを確かめてから、部分読みをする。</li> <li>・本時の課題に対する視点のもちかたや解決の仕方を通して、自分の学習の伸びに気づくことができるようにさせる。</li> </ul>

板書計画

わらぐつの中の神様

杉 みき子

課題  
わらぐつを作っている場面から、おみつさんの人柄を考えよう。

視点

- ・ おみつさんの行動・会話
- ・ 出来上がったわらぐつの様子
- ・ おみつさんの行動・会話
- ・ 我慢強い・真面目・がんばりや
- ・ 家族思い・働き者
- ・ 思いやりがある
- ・ 前向き・元気

出来上がったわらぐつの様子

いかにも変な格好です。 . . . . .  
その代わり、上からつま先まで、  
すき間なく、きつちり編みこま  
れていて、じょうぶなことは、こ  
うえなしです。

考え方  
思いやり  
がある

見ただ目ではなく、中身を大切に  
相手のことを思いやる

少しくらい格好が悪くても、はく  
人がはきやすいように、あったかい  
ように、少しでも長もちするように  
と、心をこめて、しっかりしかり、  
わらを編んでいきました。